

2026  
新年号

令和8年1月1日発行 No.52

# 元気おおよとよ新聞

HAPPY  
NEW YEAR  
2026



## ● 新年のごあいさつ

昨年を振り返り印象に残っていることの一つは、2回にわたって「お山のミライ会議」を開催し、自分たちの町の未来およびエネルギー政策について意見交換をしたことです。<sup>\*1</sup> 近年、毎年のように異常気象と言われ、地球温暖化防止対策として再生可能エネルギー（太陽光、風力、水力、地熱、バイオマスなどの、自然界に常に存在するエネルギー源のことで、石油や石炭などの化石燃料の代替エネルギーといわれている）の推進に拍車がかかっています。再生可能エネルギーは、CO<sub>2</sub>を排出しないという利点がある一方、建設のために山や森が削られ自然環境への影響が問題になっている事例も多くあります。自分たちの町の未来について、みんなで考えることが大切だと気づかされました。

もう一つは、町内に所有されている空き家の残置荷物を片づけて欲しいという依頼が多くなってきたことです。そのおかげで、活用できる物件が増え、3回目の「空き家マッチングツアー」を開催、その結果、大豊町への移住・相談の件数は増えてきております。

「元気おおよとよ」では、その時々の状況に合わせて、必要と思われる事・自分達のできる事を団体の活動として取り組んでおります。今後も「明るく元気な大豊町」を目指して、スタッフ一同活動を続けていきたいと思っておりますので、本年も変わらぬご支援をどうぞよろしくお願いします。

皆様にとって、心豊かな一年になりますよう、お祈り申し上げます。

理事長 前多由美子

\*1 意見交換の内容は、元気おおよとよ新聞2025春号・夏号に掲載しています。ぜひご一読ください。

## 特集：大豊newスポット！インタビュー ▶



特定非営利活動法人 元気おおよとよ

元気おおよとよは、大豊を元気にする民間団体です。

移住促進／地域交流／集落維持などに取り組んでいます。



080-8635-2253



<https://genki-otoyo.org/>



〒789-0250

高知県長岡郡大豊町黒石363-5  
大田口テラス1階

## 01 大杉駅

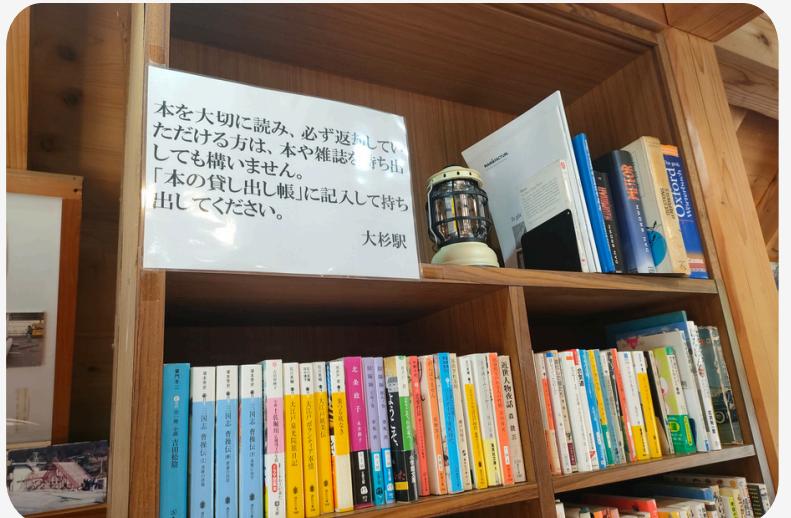


塩谷学（しおやまなぶ）さん

大杉駅サポート協議会会長

新年あけましておめでとうございました。一年の始まりだと、新しいことをしたい人いるのではないか? 今回の元気おおとよ新聞では、大豊町真っ只中のふたつの新スポットへ伺いインタビューしてきました。

まず、最初に紹介するのは嶺北の玄関口「JR大杉駅」。近年、JR四国では駅舎を廃止したり、無人化となっていますが、大杉駅の建物は町の交流施設として、大杉駅サポート協議会により平日の午前中に住民が中心になって管理しています。今回は、会長の塩谷学（しおやまなぶ）さんにお話を聞いてきました。



**会長が塩谷さんに変わったと聞きましたが、新しくしたことはありますか？**

最近、JR四国では駅が無人化になつていますが、有人でやつっている理由を教えてください。

最近はネットで切符を購入することが多く、JR四国の多くの駅が無人化となっています。しかし、駅に人がいることでネット予約に慣れていない大豊町のお年寄りが気軽にきっぷを購入できます。また、高校生の通学の見守りや観光客への案内をすると喜ばれ、それがやりがいになつています。

**現在、大杉駅で購入できるきっぷについて教えてください。**

JRのシステムの変更により、昔みたいに指定席や翌日以降のきっぷを購入することはできません。現在、大杉駅では当日の乗車券及び特急と新幹線の自由席特急券の販売となっています。以前は、JRの切符を売ることで手数料が入り、そこで運営費をまかなっていたのですが、当日だけだと昔より売り上げが減りました。駅の窓口は午前中のみ営業していますが、手数料

窓口の維持にもつながりますので、午後の乗車でもご連絡をいただけたら、可能な限り午後でも窓口を空けるようになります。町民の方で午後の便で岡山経由などで新幹線を利用するなどありましたら0887-1721-1617大杉駅までご連絡ください。

## 02 ジビエラボ

岡本裕太（おかもとゆうた）さん  
元地域おこし協力隊／ジビエラボ

次にご紹介するのが、元地域おこし協力隊の岡本裕太（おかもとゆうた）さんが運営する「ジビエラボ」。主に、ジビエを利用したアクセサリーやペット商品を開発し、日曜市やネットではじめ、数々のイベントに出店しています。そんな「ジビエラボ」では、毎週金曜日の十一時～十六時に穴内地区にあるあなた愛のひろばでペットグッズやコーヒー・ホットサンドなどを販売を始めました。

利用者からよく言われるのは、トイレが汲み取り式の和式しかなく、近くにトイレがないのかと聞かれます。また、最近は外国人の利用者も多く、和式は少し難しく、旅行者の方が躊躇してしまうことです。大豊町の玄関口として、住民も多く利用しますので、トイレが綺麗になる対策をしてほしいですね。

**ジビエラボを始めた理由は何ですか？**

将来的には、自分で家を建てて、加工場とカフェなどを併設し、ジビエにふれられる場所を作りたいと思っています。その前に練習として、毎週金曜日に実店舗で営業ができたら将来のためになると思い営業を始めました。

**最後に一言何がありますか？**

毎週金曜日の営業なので、定期的に訪れることが難しいかもしれません。国道三十二号線沿いなので、営業している際は旗などがありますので、見つけたら気軽にお寄りください。

元気おおとよ新聞では、今後も大豊町のNEWスポットなどを紹介したいと思っています。ご希望の方は元気おおとよまでご連絡ください。本年もお山の手づくり市などの活動も行つていきますので、どうぞよろしくお願ひいたします。（岩本）

現在、毎週金曜日にジビエラボとして営業しています。実際の店舗を借りるのはお金の面もかかるので、まずは間借りとして、穴内の出愛のひろばで営業をはじめました。ジビエグッズと一緒にアクセサリーとペットフード。

それ以外に僕がコーヒーを好きなので、淹れたてのコーヒーが大豊町で気軽に飲める場所があつたら良いなあと考え販売しています。最近では、町民の方の認知度も上がり、カフェ感覚で町民の方が利用してくれてとてもうれしいです。

現在、毎週金曜日にジビエラボとして営業しています。実際の店舗を借りるのはお金の面もかかるので、まずは間借りとして、穴内の出愛のひろばで営業をはじめました。ジビエグッズと一緒にアクセサリーとペットフード。

それ以外に僕がコーヒーを好きなので、淹れたてのコーヒーが大豊町で気軽に飲める場所があつたら良いなあと考え販売しています。最近では、町民の方の認知度も上がり、カフェ感覚で町民の方が利用してくれてとてもうれしいです。

現在、毎週金曜日にジビエラボとして営業しています。実際の店舗を借りるのはお金の面もかかるので、まずは間借りとして、穴内の出愛のひろばで営業をはじめました。ジビエグッズと一緒にアクセサリーとペットフード。